アキレスの社会貢献「足育（そくいく）」活動

子どもの足を守り、足を育てる「足育(そくいく)」

アキレスは、靴の製造メーカーの責任として、子どもたちの足を守り、その健やかな成長を支援する「足育（そくいく）」を2013年に提唱し、その普及に努めています。

アキレスの足育宣言

アキレスは、モータリゼーションの発達、生活環境の変化などにより子どもの足の成長が「足本来のもの」ではなくなりつつあるのではないかと考えています。アキレスは、発達過程にある子どもの「足を守る」社会的責任があると考え、「足育（そくいく）」の普及・啓蒙をめざし、子どもたちの足を健やかに育み、「楽しく歩く・走る」ことの普及に取り組んでいます。

アキレスは、2013年5月、「瞬足」の発売10周年の節目を機に、子どもたちの足の健康と成長を促す「足育（そくいく）」を宣言しました。

以来、「足育（そくいく）」視点での商品開発を進めているほか、子どもと保護者を対象に、足に合った靴と足の健康を保つための靴選びをサポートする足育活動を展開しています。

Part 1
アキレスが考える「足育(そくいく)」

アキレスでは、子どもの健やかな成長のためにヨチヨチ歩きの頃からの「足」づくりが何より重要だと考えています。成長過程の子どもの足には極力負担をかけず「はだしに近い感覚で歩くこと」、そして「人間が持つ足本来の機能を取り戻し、足の正しい育成を促すこと」、これこそが足を育てる＝「足育（そくいく）」というアキレス独自の理念です。「瞬足足育」シリーズをはじめ「瞬足」シリーズはBABYからJUNIORまですべての靴にその理念を生かし、足を育て、楽しく歩く・走ることの普及に取り組んでいます。

子どもの年齢による足の成長の変化

BABY 1～3歳

ハイハイ・ヨチヨチ歩き

足の骨はまだやわらかな状態

CHILD 3～7歳

基本的な歩行動作の完成

足の骨がしっかりとしてくる過程

JUNIOR 7～10歳

基本的な走る運動が完成

足の骨の大部分が完成してくる段階

Part 2

順天堂大学と連携

産学協同で子どもの足を育てる製品開発

深刻な問題となっている子どもの運動能力の低下に対して危機感を持ったアキレスでは、2009年4月より順天堂大学との産学協同研究プロジェクトをスタート。4年の歳月を経て、「正しい歩行が自然と身につく靴」の開発に取り組み、「子どもの足を育てる＝足育コンセプト」を生かした「瞬足足育」シリーズが誕生しました。

アキレス株式会社
子供靴設計思想
子どもたちの成長に合わせた足型を設計しています。子どもの足の健やかな成長をサポートするべく実験・研究し、進化し続けています。

×

順天堂大学
スポーツ健康科学部バイオメカニクス研究室
スポーツバイオメカニクス理論
研究チームが子どもたちの走る動作を解析。速く走れる靴の技術、美しく歩く・走るためのシューズの開発に取り組んでいます。

「瞬足足育」シリーズ

正しい歩行が自然と身につく
「足なり歩行」でトラブルを起こしにくい健康な足に！
開発した三つの足育機能→足なり歩行をサポート

1 ヒールロックシステムとアナトミーインソール
2 プレート構造ソール
3 屈曲溝でしなやかに曲がるアウトソール

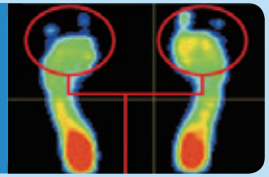
問題視される足のトラブル

現代の子どもが起こす足のトラブルには、外反母趾、浮き指、扁平足といった現象が報告されています。これらは「環境の変化により歩行の機会が減ったこと」に加え、「正しい靴を履いていない」といったことが原因で起こります。
こうしたトラブルを放っておくと、足だけにとどまらず、子どもの体全体に悪影響を及ぼしてしまいます。

足に合わない靴を履くことによる
外反母趾

悪化すると親指の付け根が外側に飛び出し、激しく痛みます。ヘルニアや顎関節症、頭痛、腰痛、ひざの痛みなどの症状が起こることも。

足に合わない靴を履くことによる
浮き指



まっすぐ走れない、すぐに転倒するなどの問題が起こりやすくなります。姿勢などに影響する場合も。

環境の変化・歩く機会の減少による
扁平足

土ふまずのアーチ部分が正しく形成されないため、バランスがとりにくく転倒しやすくなります。また痛みや疲れが多く出る場合も。

Part 3
「足育（そくいく）」の普及活動

アキレスでは、「瞬足足育」をはじめとしたシューズ製品の開発のほかにもさまざまな普及活動を展開しています。
「足育(そくいく)」特設ウェブサイトの開設、啓蒙活動のためのリーフレット制作。そして、各種関連イベントの実施などをその活動の骨子と考えていますが、中でもお客様との接点として重要な活動が、全国で行われているアキレス「足型測定会」と、アキレス「足育（そくいく）相談室」です。

特設ウェブサイトの開設

http://www.syunsoku.jp/other/sokuiku/

当社ウェブサイトでは、子どもたちの足を育て、楽しく歩く・走ることをつよく推進することを誓う「足育（そくいく）宣言」の紹介とあわせて、アキレスの「足育（そくいく）」の考え方や正しい靴の履き方、正しい歩き方を伝えています。

アキレス「足型測定会」

京王百貨店新宿店

「足育（そくいく）宣言」をした2013年から、共感を頂いた全国の百貨店、総合スーパーなどのお得意様の売場にて、足型測定会を55回開催し、幼児子ども専門シューフィッターが約7千人の子どもたちの足型を測定し、一人ひとりに丁寧にカウンセリングを行ってまいりました。

足の測定だけでなく、足の特徴や靴の正しいサイズの見立て方、履き方、商品購入のアドバイスなどを行い、好評を得ています。昨年は香港の百貨店でも実施し多くの方々にご興味を持って頂き、足型測定会は「足育（そくいく）」活動の浸透・啓蒙の拡大に努めています。

アキレス「足育（そくいく）相談室」

「足型測定&カウンセリング」サービス

アキレスは「足育（そくいく）相談室」をお客様との接点として重要な活動に位置づけています。上級シューフィッター（足と靴と健康協議会認定）を含めた4名のシューフィッターが在籍するお客様相談室との連携を図り、「正しい靴の選び方、サイズの測り方、正しい靴の履き方」などを中心に、お客様がお子様の「足と靴」についてお気軽に相談（電話&来社／完全予約制）していただける、そんな場所が「足育（そくいく）相談室」です。

みなさまのご利用をお待ちしております。

本社（東京都新宿区）

「出前講座」プログラム

首都圏の小学校やコミュニティセンターを中心に、「足育（そくいく）」や足の健康に関する出前講座を実施しています。
2016年度の出前講座の実績数は、45回でした。

出前講座開催のご要望は、「足型測定&カウンセリング」サービスと同じく、以下のURLに設けている「オンラインフォームでのお問い合わせ」、もしくはフリーコール 0120-89-4192「足育（そくいく）相談室」で受け付けています。

朝霞市立朝霞第六小学校（埼玉県朝霞市）

https://www.achilles-shoes.com/sokuiku_sodan/info/

P37 特集2データ編「足育（そくいく）」活動 出前講座 実績一覧

「出前講座」プログラム参加者の声

靴選びの大切さは知っていましたが、靴の正しい履き方があるとは知りませんでした。まだまだ成長途中の子どもの足をもう一度見直したいと思います。

子どもの靴選びに悩んだりすることがあったので、参考になりました。今後のサイズ選び等に今回教えていただいたことを活用してみたいと思います。質問タイムもなるほどということが聞けました。ありがとうございました。

ぼくは、学校保健委員会の足育のはなしで、くつのはき方や、くつのえらび方をまなびました。とくに、くつをはくときに、くつのかかとをトントンすることが大事ということにはビックリしました。

足育についての講話で、足のバランスや、足に合わない靴を履いて歩くと、足だけでなく体全体に害があると聞いて、足は自分が思っているよりも大切なものだと分かりました。普段何げなく履いている靴も、もしかしたら自分に合っていないかも知れないので、これからは気をつけて選んでいきたいです。

足育について聞いてみると、自分の気にしていないところで、足がどのくらい大切なのかを教えてもらいました。これからは、足を大切にし、自分に合った靴でしっかりと歩いて、ケガなどしないようにしていこうと思いました。

もっとウォーキングを楽しみたいので、本日得た知識を参考にしたいと思います。

今後の展開について

アキレスだからこそできる「足育(そくいく)」を

シューズ事業部
営業本部 副本部長
津端 裕（ゆたか）

皆様からたいへんご愛顧を頂いている当社ブランド「瞬足」も2013年度に販売10周年を迎えました。これを機に、「足育（そくいく）宣言」を行い、「瞬足足育（そくいく）」シリーズの開発をスタートさせ、様々な「足育（そくいく）」活動の啓蒙を行ってまいりました。改めてわかったことは、当社の子ども靴が子どもの足の成長に合わせたサイズ別設計であるのに対して、そうでない製品も存在しているということでした。アキレスの設計の特徴は、親指、小指の「側角度」や「かかと幅」、「ヒール差」などをサイズ別に設計し、木型を作成している点にあります。

今後も、当社は先人達が愚直に行ってきた「履く方の思い」に応える設計思想を伝承し続け、子供たち自身が「足の健康」、「靴選び」、「履き方」の大切さを実感してもらえるよう、製品やサービスの提供を続けることが、アキレスの使命であると考えています。